

でんおんセミナー

参加
無料

日本の希少音楽資源にふれる

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターでは、平成25年度(5月～9月期)でんおん「日本の希少音楽資源にふれる」を下記のとおり開催します。

日本の伝統音楽などの市民講座に参加するのは初めてという方にも気軽に受講いただけるセミナーですので、是非、ご参加ください。



第1回 演奏家の個性

日時 平成25年5月9日(木) 午後2時40分～午後4時10分

講師 大西 秀紀(日本伝統音楽研究センター 非常勤講師)

内容

SPレコードに記録された演奏を聴くと、現在私達が耳にするものよりもずっと個性的で、時には戸惑いすら感じることがあります。一般に伝統芸能は、元の姿かたちが厳格に今日まで伝わっていると思われがちですが、実はこの100年ぐらいの間にもさまざまに変化してきているようです。今年度第1回の伝音セミナーは、SPレコードを通じて演奏家のさまざまな個性をながめて見たいと思います。

第2回 宝生流の謡をきく

日時 平成25年6月6日(木) 午後2時40分～午後4時10分

講師 藤田 隆則(日本伝統音楽研究センター 教授)

内容

能のシテ方には五つの流派があります。そのうち宝生流は、明治大正昭和と、何人もの謡の名手を輩出してきました。宝生流の謡は、他流と比較して、どのような特徴をもっているのでしょうか。謡本の記号などにも反映されている、宝生流の特徴を整理しながら、明治から昭和にかけての名手の謡をSPレコードやソノシート、LPレコードで、聞いていきます。

第3回 お伊勢参りとその周辺

日時 平成25年7月4日(木) 午後2時40分～午後4時10分

講師 三島 暁子(日本伝統音楽研究センター非常勤講師)

内容

「お伊勢さん」と親しまれている伊勢神宮は、20年に一度、社殿を新しく作り替えることでも有名です。本年は第62回の遷御(大御神が本殿から新殿へお遷りになる)の年にあたり、例年にも増して参詣者も多いことでしょう。そこで、お伊勢参りの文化と、「伊勢音頭」をはじめとした伊勢信仰に関わる音について取り上げてみたいと思います。

第4回 上方歌舞伎の囃子の世界

日時 平成25年9月5日(木) 午後2時40分～午後4時10分

講師 前島 美保(日本伝統音楽研究センター非常勤講師)

内容

上方関西と江戸東京の歌舞伎の囃子は、楽器・音色・演出等さまざまな点で違いがあったことが従来指摘されています。昨年度に引き続き今年度も、明治大正昭和にかけて録音されたSPやLPレコード等の音源資料に基づきながら、それらについて多角的に検証してみたいと思います。

受付 当日会場で、午後2時受付開始

会場 京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター
合同研究室1(新研究棟7階)
(京都市西京区大枝沓掛町13-6)

定員 各回につき、先着50名

主催 京都市立芸術大学

問い合わせ先 京都市立芸術大学 教務学生支援室(事業推進担当)
電話(075)334-2204

交通 最寄り駅：阪急京都線桂駅・JR京都線桂川駅よりバスまたはタクシー

- ・ 阪急桂駅東口 京阪京都交通バス 1・2・13・14・25・28系統に乗車約20分、「芸大前」下車(セブンイレブン前の2番のりば。平日の日中は毎時平均3本)
- ・ 阪急桂駅西口 市バス 西1・西8※系統に乗車約20分、「新林池公園」下車(※昼間(10～16時)のみ) 市バス 西5系統に乗車約20分、「国道沓掛口」下車
- ・ 阪急洛西口駅 ヤサカバス 桂坂中央行(1系統)に乗車約15分、「国道沓掛口」下車
- ・ JR桂川駅 京阪京都交通バス 11系統に乗車約15分、「芸大前」下車 京阪京都交通バス 12系統に乗車約20分、「芸大前」下車 ヤサカバス 1・4系統に乗車約20分、「新林池公園」下車
- ・ JR京都駅 C2のりば 京阪京都交通バス 2・14・28系統に乗車約45分、「芸大前」下車 C5のりば 市バス 73系統に乗車約45分、「国道沓掛口」下車
- ・ 四条烏丸 市バス 29系統に乗車約50分、「新林池公園」下車

●芸大前バス停から徒歩すぐ。国道沓掛口バス停から正門まで約10分。●新林池公園バス停から正門まで徒歩20分。
*京阪京都交通バスについては、系統により所要時間が異なります。(このデータは平成24年●月現在のものです。)

